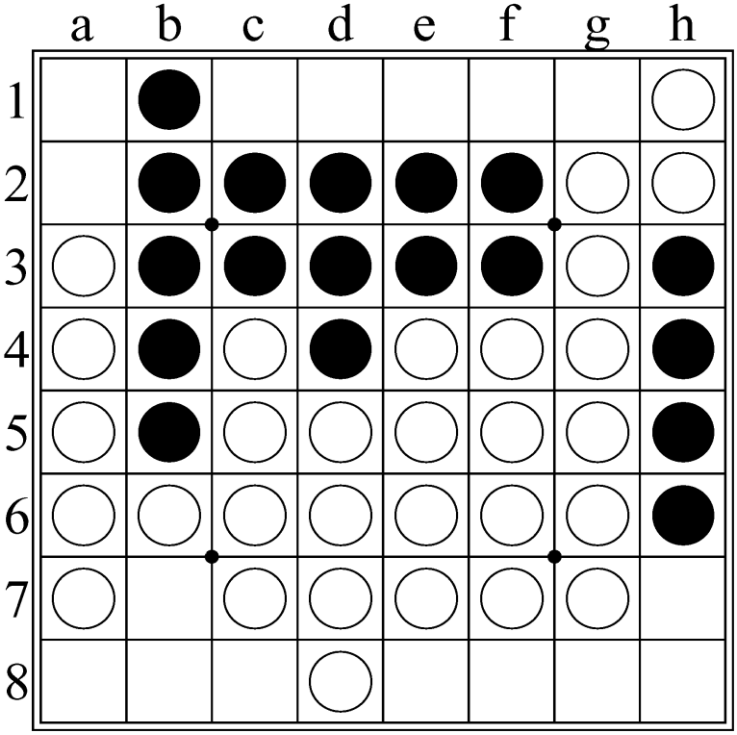
オセロニュース150号詰めオセロ懸賞問題

第４６期名人戦無差別の部　１回戦 (2026.3.15)
黒：滝沢雅樹九段　（新潟）
白：奥平芙弓五段　（中部）



【黒番】

劣勢の黒の私は必死に考え粘りましたが、ここで敗着を打ってしまいました。実はここで勝てる手があったのです。その手は？

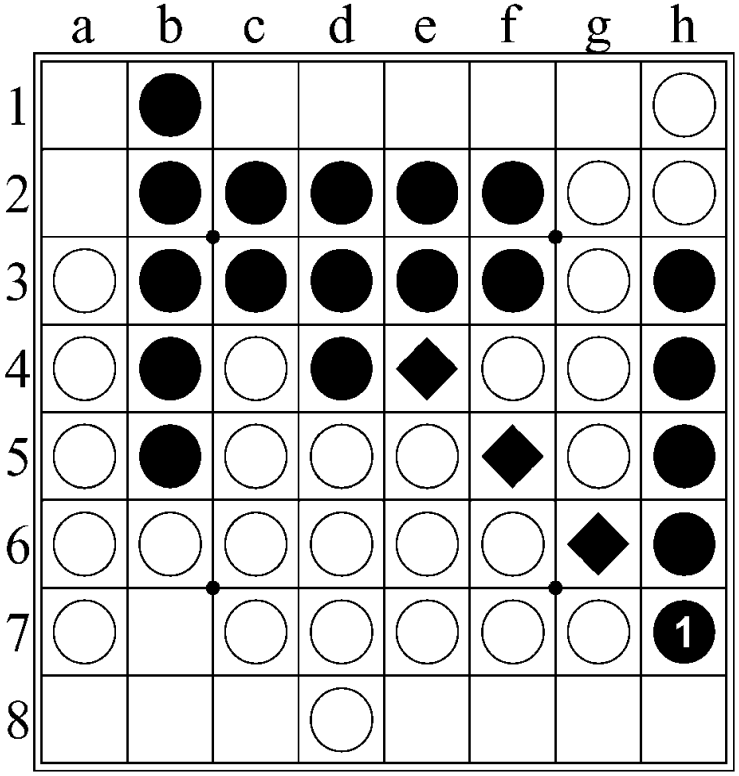
（出題：滝沢　雅樹）

【応募方法】

黒番です。黒の最善手を答えてください。その一手に、住所、氏名、会員番号、年齢、電話番号、オセロニュースの感想、一番面白かった記事をお書きの上、ハガキでお送りください。正解者の中から抽選で３名様に賞品を差し上げます。

【宛先】　〒110-0015
東京都台東区東上野3-36-7
上野Mビル３階
一般社団法人 日本オセロ連盟
締切：令和８年5月末日（消印有効）

懸賞問題解答



（１図）

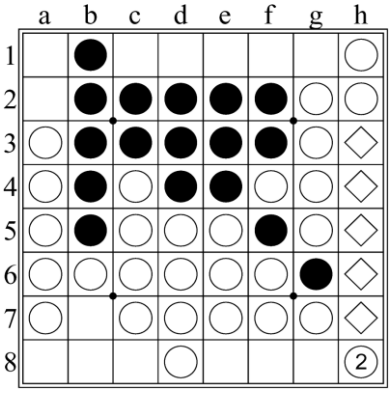
正解　黒h7

問題として局面を見ると、何か答えがあるのではないかと試行錯誤するので、実戦よりは答えを発見しやすいものです。それに対し、勝てる手があると思わなければ、答えはなかなか見えてこないものです。私はこの時は、半ば諦めていました。ですから正解を見つけることができなかったのです。逆に考えれば、この局面で正解手を発見できる人は、素晴らしいセンスの持ち主であるといえるでしょう。

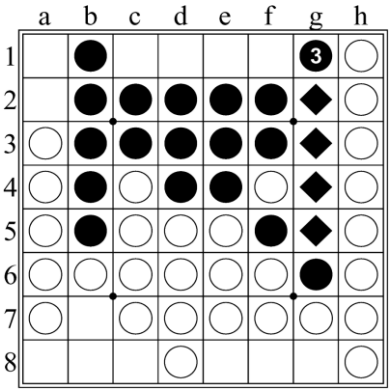
正解は１図の黒h7です。以下双方最善で黒２石勝ちとなります。でも、まだ空き数はこんなにもあるのに、これで２石差ということなら、一山もふた山もあるのではないかと思うところでしょう。しかし、これ以外の手では、はっきりと黒敗勢になるので、この手が見えれば大正解なのです。

では、なぜこの手が正解なのかを見てみましょう。

２図は白が素直にh8と隅を取った局面です。この形になれば、はっきりと逆偶数形で黒勝勢です。次の黒は３図のようにg1と打って、上部の空きを全て偶数空きに区画することができます。

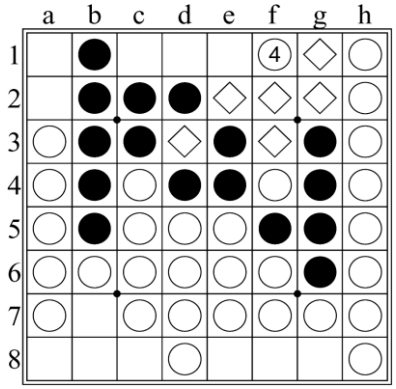


（２図）

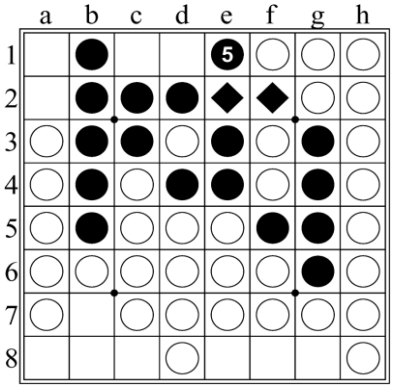


（３図）

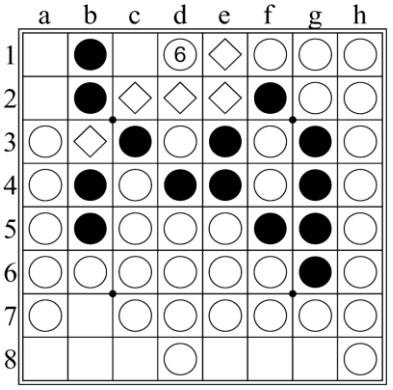
この後は４～９図のように、白→黒→白→黒→白→黒(a2）で、黒が必ず左辺ウイングの根本に割り込むことができます。９図以降は、白パス→黒b8→白c8→黒a8→白パス→黒g8→白f8→黒b7→白パス→黒e8で黒10石勝ちとなります。



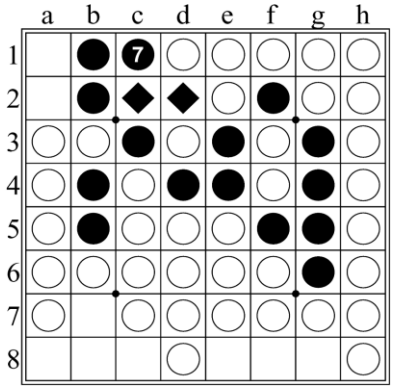
（４図）



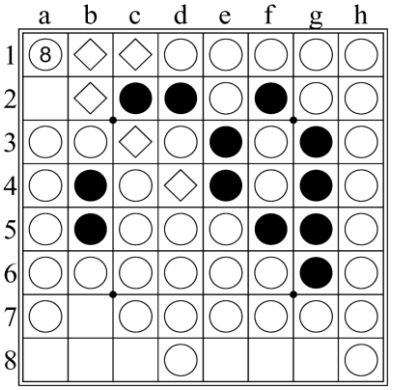
（５図）



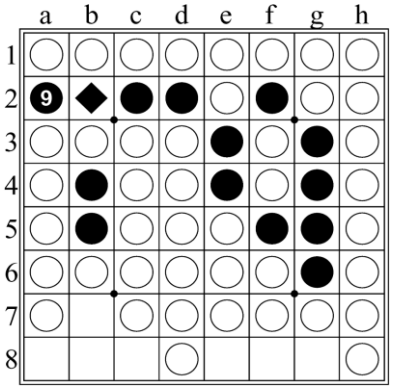
（６図）



（７図）



（８図）



（９図）

次に１図から白h8と取らず、白g1（10図）と打って逆偶数形を回避した形を見てみましょう。この場合は黒h8（11図）と隅を取ります。この手のおかげで右辺を確保できました。この後は下辺も黒が取れ